

卷末資料

I 調查票

ファミリーサポートセンターに関する認知度調査

■調査目的 ファミリーサポートセンターを実態把握。
地域で子育てを支援しているファミリーサポートセンターの利用率・認知率を測り今後会員数を増やすための研究材料としてデータを活用する。

■調査対象者
性別：男女
年齢：10-70代
地域：全国
その他：1) 依頼会員となり得る子育て家庭の保護者
・未子年齢が小学校低学年以下の子どものいる保護者
2) 提供会員となり得る方提供会員世代
・10代~70代の男女

■スクリーニング

全員回答

F1 SA あなたの性別をお答えください。
(お答えは1つ)

○1	男性
○2	女性

F2 NUM あなたの年齢をお答えください。
(お答えは半角数字で)

歳 ※半角数字のみ ※9歳以下、80歳以上は調査終了

F3 SA あなたのお住まいの地域をお答えください。
(お答えは1つ)

▼プルダウン	
1	北海道
2	青森県
3	岩手県
4	宮城県
5	秋田県
6	山形県
7	福島県
8	茨城県
9	栃木県
10	群馬県
11	埼玉県
12	千葉県
13	東京都
14	神奈川県
15	新潟県
16	富山県
17	石川県
18	福井県
19	山梨県
20	長野県
21	岐阜県
22	静岡県
23	愛知県
24	三重県
25	滋賀県
26	京都府
27	大阪府
28	兵庫県
29	奈良県
30	和歌山県
31	鳥取県
32	島根県
33	岡山県
34	広島県
35	山口県
36	徳島県
37	香川県
38	愛媛県
39	高知県
40	福岡県
41	佐賀県
42	長崎県
43	熊本県
44	大分県
45	宮崎県
46	鹿児島県
47	沖縄県
48	海外

全員回答

SC1 SA あなたの現在の配偶者の有無をお答えください。
(お答えは1つ)

[改ページ](#)

○1	有り
○2	無し

全員回答

SC2 SA あなたは子育てをした経験がありますか。
(お答えは1つ)

[改ページ](#)

○1	有り
○2	無し

全員回答

SC3 SA あなたのお子様の年齢をお答えください。
(お答えは1つ)
※お子様が2名以上いる方は、末子の年齢をお答えください。

[改ページ](#)

○1	0歳未満（第1子妊娠中）
○2	0歳
○3	1歳
○4	2歳
○5	3歳
○6	4歳
○7	5歳
○8	6歳
○9	7歳
○10	8歳
○11	9歳
○12	10歳以上
○13	現在子どもはいない

回答者：SC3=2~12「子供がいる※妊娠中は含めない」

[改ページ](#)

SC4 SA あなたのお子様の人数をお答えください。
(お答えは1つ)

○1	1人
○2	2人
○3	3人
○4	4人
○5	5人
○6	6人
○7	7人以上

全員回答

SC5 SA あなたの職業をお答えください。
(お答えは1つ)

[改ページ](#)

○1	無職
○2	正社員・正規職員
○3	派遣社員
○4	請負社員
○5	自営業主、自由業者
○6	パート・アルバイト
○7	内職
○8	家族従事者
○9	経営者、役員
○10	その他（具体的に)

全員回答

SC6 SA あなたのご家庭の世帯年収をお答えください。
(お答えは1つ)

[改ページ](#)

○1	100万円未満
○2	100万円～200万円未満
○3	200万円～300万円未満
○4	300万円～400万円未満
○5	400万円～500万円未満
○6	500万円～600万円未満
○7	600万円～700万円未満
○8	700万円～800万円未満
○9	800万円～900万円未満
○10	900万円～1,000万円未満
○11	1,000万円以上
○12	わからない

■本調査 改ページ

全員回答

Q1 SA あなたは、「ファミリー・サポート・センター事業」を知っていますか。
(お答えは1つ)

※ファミサポの概要の資料提示

<input type="radio"/> 1	知っている
<input type="radio"/> 2	知らない
<input type="radio"/> 3	聞いたことはある程度で内容については知らない

回答者：Q1=1 (ファミリー・サポート・センターを知っている方)

改ページ

Q2 MA ファミリー・サポート・センターを「知っている」とお答えした方にお聞きします。
事業を知ったきっかけは何からでしたか。以下の選択肢からあてはまるものすべてを選んでください。
(お答えはいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1	市町村の広報
<input type="checkbox"/> 2	子育て関連施設、子育てイベント等
<input type="checkbox"/> 3	学校関係での広報
<input type="checkbox"/> 4	公共施設や公的な行事での広報
<input type="checkbox"/> 5	民間施設での広報（商業施設等）
<input type="checkbox"/> 6	口コミ
<input type="checkbox"/> 7	ホームページ、SNS
<input type="checkbox"/> 8	その他（ ）

回答者：割付1 & Q1=1 (SC3=○1~11、かつ、ファミリー・サポート・センターを知っている方)

改ページ

Q3 SA ファミリー・サポート・センターを「知っている」とお答えした方にお聞きします。
あなたはファミリー・サポート・センターの依頼会員（子どもを預ける会員）として登録していますか。
(お答えは1つ)

<input type="radio"/> 1	会員として登録しており、預かり・送迎などをしてもらったことがある
<input type="radio"/> 2	会員として登録しているが、預かり・送迎などの依頼をしたことはない
<input type="radio"/> 3	会員として過去に登録していたが、やめてしまった（退会した）
<input type="radio"/> 4	会員として登録していない

回答者：割付2 & Q1=1 (F2=10~79andSC3=○12~13、かつ、ファミリー・サポート・センターを知っている方)

改ページ

Q4 SA ファミリー・サポート・センターを「知っている」とお答えした方にお聞きします。
あなたはファミリー・サポート・センターの提供会員（子どもを預かる会員）として登録していますか。
(お答えは1つ)

<input type="radio"/> 1	会員として登録しており、援助活動を行ったことがある
<input type="radio"/> 2	会員として登録しているが、援助活動を行ったことはない
<input type="radio"/> 3	会員として過去に登録していたが、やめてしまった（退会した）
<input type="radio"/> 4	会員として登録していない

回答者：割付1 & Q3=1~3 (SC3=○1~11、かつ、依頼会員として登録している方)

改ページ

Q5 MA ファミリー・サポート・センターの「会員として登録しており、預かり・送迎などをしてもらったことがある」または「会員として登録しているが、預かり・送迎などの依頼をしたことはない」または「会員として過去に登録していたが、やめてしまった（退会した）」を選んだ方にお聞きします。
会員として登録した理由は何ですか。以下の選択肢からあてはまるものすべてを選んでください。
(お答えはいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1	利用料金が安いから
<input type="checkbox"/> 2	同じ地域の住民が預かってくれるから（地域住民同士の支え合いだから）
<input type="checkbox"/> 3	行政が案内するため信頼できるから
<input type="checkbox"/> 4	他に利用できるサービスがないから
<input type="checkbox"/> 5	友人に教えてもらったから
<input type="checkbox"/> 6	子どもを地域とのかかわりの中で育てたいから
<input type="checkbox"/> 7	サービスの仕組みが整っているから
<input type="checkbox"/> 8	その他（ ）

回答者：割付2 & Q4=1~2 (F2=10~79andSC3=○12~13、かつ、提供会員として登録している方)

[改ページ](#)

Q6 MA ファミリー・サポート・センターの「会員として登録しており、援助活動を行ったことがある」または「会員として登録しているが、援助活動を行ったことはない」を選んだ方にお聞きします。
会員として登録した理由は何ですか。以下の選択肢からあてはまるものすべてを選んでください。
(お答えはいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1	困っている人の手助けをしたい、人の役に立ちたいから
<input type="checkbox"/> 2	楽しそう、子どもが好きだから
<input type="checkbox"/> 3	子育て経験が活かせるから
<input type="checkbox"/> 4	子育てに関して、自分と同じような状況に置かれている人の手助けをしたいから
<input type="checkbox"/> 5	時間に余裕ができたから
<input type="checkbox"/> 6	地域や社会に恩返しをしたいから
<input type="checkbox"/> 7	児童虐待や子育ての孤立など、社会問題の解決に役立ちたいから
<input type="checkbox"/> 8	その他 ()

回答者：割付1 & Q3=2~4 (SC3=1~11、かつ、依頼会員として登録していない方)

[改ページ](#)

Q7 MA ファミリー・サポート・センターの「会員として登録していない」または「会員として登録しているが、預かり・送迎などの依頼をしたことはない」または「会員として過去に登録していたが、やめてしまった(退会した)」とお答えした方にお聞きします。
会員として登録していない、やめてしまった理由、または会員として登録しているが支援の依頼をしない理由は何ですか。以下の選択肢からあてはまるものすべてを選んでください。
(お答えはいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1	利用料金が高いから
<input type="checkbox"/> 2	同じ地域の住民に預けたくないから
<input type="checkbox"/> 3	行政が案内する支援だが信頼できないから
<input type="checkbox"/> 4	他に利用できるサービスがあるから
<input type="checkbox"/> 5	子どもを地域とのかかわりの中で育てたいとは思わないから
<input type="checkbox"/> 6	サービスの仕組みが整っていないから
<input type="checkbox"/> 7	使いにくそうだから
<input type="checkbox"/> 8	他人に子どもを預けることに抵抗があるから
<input type="checkbox"/> 9	家族が反対したから
<input type="checkbox"/> 10	新型コロナウイルス感染症の感染の恐れがあったから
<input type="checkbox"/> 11	依頼する必要がなかったから
<input type="checkbox"/> 12	その他 ()

回答者：割付2&Q4=2~4 (F2=10~79andSC3=○12~13、かつ、提供会員として登録していない方)

[改ページ](#)

Q8 MA ファミリー・サポート・センターの「会員として登録していない」または「会員として登録しているが、援助活動を行ったことはない」または「会員として過去に登録していたが、やめてしまった(退会した)」とお答えした方にお聞きします。
会員として登録していない、やめてしまった理由、または会員として登録しているが援助活動を行わない理由は何ですか。以下の選択肢からあてはまるものすべてを選んでください。
(お答えはいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1	活動に興味がないから
<input type="checkbox"/> 2	時間がないから
<input type="checkbox"/> 3	報酬が安いから
<input type="checkbox"/> 4	何か問題があったときの責任が重すぎるから
<input type="checkbox"/> 5	家族の理解が得られないから
<input type="checkbox"/> 6	研修が負担だから
<input type="checkbox"/> 7	同じ地域の人と関わりたくないから
<input type="checkbox"/> 8	家族が反対したから
<input type="checkbox"/> 9	新型コロナウイルス感染症の感染の恐れがあったから
<input type="checkbox"/> 10	活動の依頼がなかったから
<input type="checkbox"/> 11	その他 ()

回答者：割付1 (SC3=1~11)

[改ページ](#)

Q9 SA あなたは、これまで、ご自身のお子さんを預かってほしいと思ったことはありますか。
(お答えは1つ)

<input type="radio"/> 1	ある
<input type="radio"/> 2	ない

回答者：Q9=1 (預かってほしいと思ったことがある)

[改ページ](#)

Q10 SA お子さんを預かってほしい場合、あなたは何を重視していますか。
一番重視する要素について、以下の選択肢からあてはまるものをひとつ選んでください。
(お答えは1つ)
※妊娠中の方は、将来子供が生まれた後を想定してお答えください。

<input type="radio"/> 1	利用料金が安いこと
<input type="radio"/> 2	預かってくれる人が信頼できること
<input type="radio"/> 3	預かってくれる人が専門資格を持っていること
<input type="radio"/> 4	利用しやすいこと、手続きがわかりやすいこと
<input type="radio"/> 5	預かってほしい時、いつでもすぐに預けられる
<input type="radio"/> 6	事故・トラブルがあった時に補償制度などがあること
<input type="radio"/> 7	公的なサービスであること
<input type="radio"/> 8	サービスがどのようなものかを知る説明の場が身近にあること
<input type="radio"/> 9	預かってもらうことに家族の理解があること
<input type="radio"/> 10	その他 ()

回答者：Q9=1 (預かってほしいと思ったことがある)

[改ページ](#)

Q11 MASA あなたは、ご自身のお子さんを預かってほしい場合、どのようにしていますか。おこなったことのあるものを選択肢からすべて選んでください。(縦回答)
 MT (お答えはいくつでも)
 また、最もつかうものをひとつ選んでください。
 (お答えは1つ)
 ※妊娠中の方は、将来子供が生まれた後にどのようなものを利用/経験しそうかでお答えください。

	Q11_1	Q11_2
	と お の こ あ な る つ も た の こ	の 最 も つ か う の も
	※Q11_1でONのある項目のみQ11_2に選択可	
1	祖父母に預かってもらう	<input type="checkbox"/> 1 <input type="radio"/> 1
2	祖父母以外の親族に預かってもらう	<input type="checkbox"/> 2 <input type="radio"/> 2
3	近所の住民の方に預かってもらう	<input type="checkbox"/> 3 <input type="radio"/> 3
4	友人・知人に預かってもらったり、預け合ったりする	<input type="checkbox"/> 4 <input type="radio"/> 4
5	公的な支援サービスを利用する	<input type="checkbox"/> 5 <input type="radio"/> 5
6	民間のサービス(ベビーシッター等)を利用する	<input type="checkbox"/> 6 <input type="radio"/> 6
7	預かり先がみつからなかった(自分で子どもをみた)	<input type="checkbox"/> 7 <input type="radio"/> 7
8	その他()	<input type="checkbox"/> 8 <input type="radio"/> 8

回答者：割付2 (F2=10~79andSC3=○12~13)

[改ページ](#)

Q12 SA あなたは、これまでに、子育て支援の活動等を行ったことがありますか。
 以下の選択肢からあてはまるものをひとつ選んでください。
 (お答えは1つ)

<input type="radio"/> 1	子育て支援の活動を行ったことがあり、現在も活動している
<input type="radio"/> 2	子育て支援の活動を行ったことがあるが、現在は活動していない
<input type="radio"/> 3	子育て支援の活動を行ったことがないが、関心を持っている
<input type="radio"/> 4	子育て支援の活動を行ったことがないし、関心もない

回答者：割付2 (F2=10~79andSC3=○12~13)

[改ページ](#)

Q13 SA あなたは、子育てを地域の住民同士が助け合う子育て支援の活動について、その必要性を感じますか。
 以下の選択肢からあてはまるものをひとつ選んでください。
 (お答えは1つ)

<input type="radio"/> 1	必要だと思っている
<input type="radio"/> 2	ある程度必要だと思う
<input type="radio"/> 3	あまり必要だと思わない
<input type="radio"/> 4	必要だと思わない

全員回答

[改ページ](#)

Q14 MA 「ファミリー・サポート・センター事業」について、あなたが受ける印象を教えてください。
 以下の選択肢からあてはまるものをすべて選んでください。
 (お答えはいくつでも)

※ファミサポの概要の資料提示

<input type="checkbox"/> 1	報酬が高い
<input type="checkbox"/> 2	報酬が安い
<input type="checkbox"/> 3	利用料金が安い
<input type="checkbox"/> 4	利用料金が安い
<input type="checkbox"/> 5	信頼できる
<input type="checkbox"/> 6	信頼できない
<input type="checkbox"/> 7	専門性が高い
<input type="checkbox"/> 8	専門性が低い
<input type="checkbox"/> 9	利用しやすい
<input type="checkbox"/> 10	利用しにくい
<input type="checkbox"/> 11	手続きがわかりやすい
<input type="checkbox"/> 12	手続きがわかりにくい
<input type="checkbox"/> 13	その他()

全員回答

[改ページ](#)

Q15 FA 「ファミリー・サポート・センター事業」に求めることや期待することはどのようなことでしょうか。自由にお書きください。
 (お答えは具体的に)

※ファミサポの概要の資料提示

必須

令和4年9月吉日

ファミリー・サポート・センター ご担当者様

一般財団法人 女性労働協会
会長 岩田 三代
(公 印 省 略)

令和4年度 厚生労働省 子ども・子育て支援推進調査研究事業
**子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における
提供会員の確保方策等に関する調査研究**
「ファミリー・サポート・センターヒアリング調査」に関するご協力のご依頼

皆様におかれましては、日頃より協会事業にご理解・ご協力を賜り誠に有難うございます。

私ども女性労働協会は、このたび、厚生労働省「令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」において、全国のファミリー・サポート・センター様を対象に、標記調査研究を行うこととなりました。ご多忙中のところ誠に恐縮に存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

本調査では、特徴的、効果的な取組を行っているファミリー・サポート・センターや連携機関等に対するヒアリングを行わせていただき、地域における子育て支援事業を一層充実していく参考にさせていただきたいと考えております。

具体的な調査の目的や概要、調査内容、調査方法等につきましては、別紙に記載しておりますので、ご参照いただきますと幸いです。

何卒趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

記

(添付資料)

- ・別紙①「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査の概要
- ・別紙②同意書
- ・別紙③同意撤回書

【お問合せ先】

一般財団法人 女性労働協会 担当 小林、吉川、野崎、角納
〒105-0014 東京都港区芝 2-27-8 VORT 芝公園 8階
TEL：03-3456-4410
Email：w-women2a@jaaww.or.jp

(別紙①)

「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査概要

1. 本調査研究事業について

私ども女性労働協会は、平成6年のファミリー・サポート・センター事業設立当初から現在に至る四半世紀以上の長きにわたり運営支援を実施し、数多くのセンター様の安心・安全な活動と円滑な業務運営のために尽力いたしております。

本調査研究事業は、全国ファミリー・サポート・センター様を対象に、アンケート調査及びヒアリング調査の実施を通じてファミリー・サポート・センター事業の実態の把握及び課題への対応策を検討し、今後の事業の一層の充実を図るため、厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業として計画・実施しているものです。

本研究へのご協力をお願いするために、研究の目的や内容をご説明いたします。下記をお読みいただき、ご理解いただいた上でご協力いただければ幸いです。

この研究は、立正大学倫理審査委員会にて審査を受け、承認を受けております。

2. 本研究の目的及び意義

ファミリー・サポート・センター事業において、「提供会員の確保」は全国的な課題であり、個々のセンターで様々な取組が行われてきているところです。しかし、思ったような成果が得られない中、提供会員の高齢化が進み、問題が深刻化しています。また、本事業は、これまで他の子育て支援事業の枠からこぼれ落ちる細かい依頼にも柔軟に対応し他事業を補完する役割も担ってきました。しかし、近年、他の子育て支援事業が充実するにつれ、ボランティアな「地域住民同士の支え合い」の活動範囲を超え、専門性や他機関との連携体制が求められる依頼も少なくありません。

そこで、本研究においては、「地域住民同士の支え合い」である事業の特性を踏まえ、提供会員の確保や配慮の必要な子育て家庭への対応方法等について、事業の認知度調査（別途実施）やヒアリング調査により、課題に対する根本的な原因解明と適切かつ有効な対応策について検討を行い、今後のファミリー・サポート・センター事業の充実向上に寄与する成果としたいと考えています。

3. ヒアリング調査の対象と調査方法

(1) 調査対象として選定された理由

本調査研究事業の検討委員会において、令和3年度に実施したアンケート調査結果より、提供会員の確保ができている、提供会員数が増加した、提供会員の活動割合が高い等の回答結果を得られたセンターとして、貴センターを選定させていただきました。

アドバイザー様にヒアリングさせていただければと存じます。

(2) 調査方法

オンライン（zoom）による面接。

ZOOM アドレスは、別途メールにてお送りさせていただきます。

※ZOOM の入室に関してはパスコードを記載し、プライバシーに配慮した環境で実施するようにいたします。

(3)ヒアリング調査の日程

●年●月●日（●曜日） ●時から●時まで 所要時間：2 時間以内

(4)ヒアリング担当者(予定)

検討委員会委員

東内瑠里子（日本福祉大学）、藤高直之（立正大学）、東根ちよ（大阪府立大学）

ファミリー・サポート・センターアドバイザーの委員 2～3名程度

事務局

小林恭子（一般財団法人 女性労働協会）ほか 2～3名程度

(5)ヒアリング内容

提供会員の確保や困難事例への対応等において、他センターへの参考事例となるような好事例として、特色ある取組の内実をヒアリングし、提供会員の確保のための対策を講じるための課題を抽出するとともにファミリー・サポート・センター事業運営において活用可能な対応策について整理し、事業の特性を踏まえた対応策を整理したいと考えております。

【ヒアリング項目】

< 1 センター基本情報 >

< 2 提供会員の確保について >

- ・提供会員の確保のために実施した内容、工夫点
- ・今後の確保のための改善点と改善策
- ・ファミリー・サポート・センター事業を行うにあたり、提供会員をどう位置付けているか（会員とのコミュニケーション、会員同士の交流、信頼関係を築くための工夫等）

< 3 困難事例への対応について >

- ・困難事例の対応のための体制、連携先
- ・困難事例への対応事例と対応にあたって重視した点
- ・ファミサポ事業において配慮が必要な家庭にどう対応していくか

< 4 センターの特色ある取組について >センターごとに個別の質問

< 5 今後の事業のあり方について >

4. 本研究事業にかかる個人情報等の取扱いおよび倫理的配慮について

本研究の実施に当たっては、厚生労働省子ども子育て支援課の許可を得て実施しております。ヒアリング調査の実施にあたりましては貴重なお時間を頂戴しますが、調査の主旨をご理解いただきますようお願いいたします。また、報告書作成のため、ヒアリング実施中に録画・録音等を

させていきたいと考えております。

本調査の参加にご同意いただける場合は、別紙②の同意書にご記入いただき、「6. 本調査へのご質問・相談ならびに問い合わせ先」に記載の調査担当までメールまたは同封の返信用封筒にてお送りくださいますようお願い申し上げます。

なお、別紙③の同意撤回書によって、いつでもこれを撤回することができます。撤回によって、あなたさまの不利益になるようなことは一切ありません。

また、ここで得た個人情報に関しては、女性労働協会において厳重に保管し、調査研究報告での公開にあたっては、公開前に許可をいただくとともに、匿名化するなどによって個人情報の保護に努めます。

本研究で得ました情報に関しては、本研究のためだけに使用します。使用後は機密文書として保管し、廃棄をします。研究計画書及び研究の方法に関する資料への情報公開をご希望の方は、女性労働協会へ連絡をいただくと閲覧することができます。

5. 本研究事業にかかる情報公開について

ここで得た情報をもとに、アンケート調査票の分析と合わせて、現場で活用可能な対応策の好事例集を作成いたします。好事例集は、女性労働同協会のサイトでの公開を予定しております。また日本子ども家庭福祉学会（案）、日本保育学会（案）などで学会発表、ならびに論文執筆を行う予定です。

6. 本調査へのご質問・相談ならびに問い合わせ先

一般財団法人 女性労働協会 担当 小林、吉川、野崎、角納

〒105-0014 東京都港区芝 2-27-8 VORT 芝公園 8階

TEL : 03-3456-4410

Email : w-women2a@jaaww.or.jp

(別紙②)

ヒアリング調査参加の同意書

私は、「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査に関する以上の事項について説明を受けました。研究の目的、方法等について理解し、研究に参加いたします。

参加者（署名） _____

日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

(別紙③)

ヒアリング調査参加の同意撤回書

私は、「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査への参加の同意を撤回いたします。

参加者（署名） _____

日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

令和4年9月吉日

ファミリー・サポート・センター及び子育て支援機関ご担当者様

一般財団法人 女性労働協会
会長 岩田 三代
(公 印 省 略)

令和4年度 厚生労働省 子ども・子育て支援推進調査研究事業
**子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における
提供会員の確保方策等に関する調査研究**
「ファミリー・サポート・センターヒアリング調査」に関するご協力のご依頼

皆様におかれましては、日頃より協会事業にご理解・ご協力を賜り誠に有難うございます。

私ども女性労働協会は、このたび、厚生労働省「令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」において、全国のファミリー・サポート・センター様を対象に、標記調査研究を行うこととなりました。ご多忙中のところ誠に恐縮に存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

本調査では、特徴的、効果的な取組を行っているファミリー・サポート・センターや連携機関等に対するヒアリングを行わせていただき、地域における子育て支援事業を一層充実していく参考にさせていただきたいと考えております。

具体的な調査の目的や概要、調査内容、調査方法等につきましては、別紙に記載しております。ご参照いただき、ご協力くださいますようお願い致します。

何卒趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

記

(添付資料)

- ・別紙①「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査の概要
- ・別紙②同意書
- ・別紙③同意撤回書

【お問合せ先】

一般財団法人 女性労働協会 担当 小林、吉川、野崎、角納
〒105-0014 東京都港区芝 2-27-8 VORT 芝公園 8階
TEL：03-3456-4410
Email：w-women2a@jaaww.or.jp

(別紙①)

「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査概要

1. 本調査研究事業について

私ども女性労働協会は、平成6年のファミリー・サポート・センター事業設立当初から現在に至る四半世紀以上の長きにわたり運営支援を実施し、数多くのセンター様の安心・安全な活動と円滑な業務運営のために尽力いたしております。

本調査研究事業は、全国のファミリー・サポート・センター様を対象に、アンケート調査及びヒアリング調査の実施を通じてファミリー・サポート・センター事業の実態の把握及び課題への対応策を検討し、今後の事業の一層の充実を図るため、厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業として計画・実施しているものです。

本研究へのご協力をお願いするために、研究の目的や内容をご説明いたします。下記をお読みいただき、ご理解いただいた上でご協力いただければ幸いです。

この研究は、立正大学倫理審査委員会にて審査を受け、承認を受けております。

2. 本研究の目的及び意義

ファミリー・サポート・センター事業において、「提供会員の確保」は全国的な課題であり、個々のセンターで様々な取組が行われてきているところです。しかし、思ったような成果が得られない中、提供会員の高齢化が進み、問題が深刻化しています。また、本事業は、これまで他の子育て支援事業の枠からこぼれ落ちる細かい依頼にも柔軟に対応し他事業を補完する役割も担ってきました。しかし、近年、他の子育て支援事業が充実するにつれ、配慮が必要な家庭への対応等、ボランティアな「地域住民同士の支え合い」の活動範囲を超え、専門性や他機関との連携体制が求められる依頼も少なくありません。

そこで、本研究においては、「地域住民同士の支え合い」である事業の特性を踏まえ、提供会員の確保や配慮の必要な子育て家庭への対応方法等について、事業の認知度調査（別途実施）やヒアリング調査により、課題に対する根本的な原因解明と適切かつ有効な対応策について検討を行い、今後のファミリー・サポート・センター事業の充実向上に寄与する成果としたいと考えています。

3. ヒアリング調査の対象と調査方法

(2) 調査対象として選定された理由

本調査研究事業の検討委員会において、令和3年度調査結果や女性労働協会独自調査等より、ファミリー・サポート・センターと関係機関連携を効果的に展開していると思われる事例として、貴センター及び貴機関を選定させていただきました。

つきましては、貴センターアドバイザー様及び貴機関ご担当者様にヒアリングをさせていただければと存じます。

(2)調査方法

オンライン（zoom）による面接。

ZOOM アドレスは、別途メールにてお送りさせていただきます。

※ZOOM の入室に関してはパスコードを記載し、プライバシーに配慮した環境で実施するようにいたします。

(3)ヒアリング調査の日程

●年●月●日（●曜日）●時から●時まで 所要時間：2時間以内

(4)ヒアリング担当者(予定)

検討委員会委員

東内瑠里子（日本福祉大学）、藤高直之（立正大学）、東根ちよ（大阪府立大学）

ファミリー・サポート・センターアドバイザーの委員 2～3名程度

事務局

小林恭子（一般財団法人 女性労働協会）ほか 2～3名程度

(5)ヒアリング内容

他センターへの参考事例となるような好事例として、ファミサポと関係機関の連携において、先進的な取組の内実をヒアリングし、ファミリー・サポート・センター事業運営において活用可能な対応策について整理し、事業の特性を踏まえた取組方策を整理したいと考えております。

【ヒアリング項目】

< 1 センター及び関連機関基本情報 >

< 2 連携の現状・効果について >

- ・連携が必要となった背景
- ・連携の内容、役割分担
- ・うまく対応できた事例
- ・連携の効果

< 3 連携における問題点・課題 >

- ・連携にあたって問題となったこと、課題

< 4 センターの特色ある取組について >

< 5 今後の連携のあり方について >

4. 本研究事業にかかる個人情報等の取扱いおよび倫理的配慮について

本研究の実施に当たっては、厚生労働省子ども子育て支援課の許可を得て実施しております。ヒアリング調査の実施にあたりましては貴重なお時間を頂戴しますが、調査の主旨をご理解いた

だきますようお願いいたします。また、報告書作成のため、ヒアリング実施中に録画・録音等をさせていただきますと考えております。

本調査の参加にご同意いただける場合は、別紙②の同意書にご記入いただき、「6. 本調査へのご質問・相談ならびに問い合わせ先」に記載の調査担当までメールまたは同封の返信用封筒にてお送りくださいますようお願い申し上げます。

なお、別紙③の同意撤回書によって、いつでもこれを撤回することができます。撤回によって、あなたさまの不利益になるようなことは一切ありません。

また、ここで得た個人情報に関しては、女性労働協会において厳重に保管し、調査研究報告での公開にあたっては、公開前に許可をいただくとともに、匿名化するなどによって個人情報の保護に努めます。

本研究で得ました情報に関しては、本研究のためだけに使用します。使用後は機密文書として保管し、廃棄をします。研究計画書及び研究の方法に関する資料への情報公開をご希望の方は、女性労働協会へ連絡をいただくと閲覧することができます。

5. 本研究事業にかかる情報公開について

ここで得た情報をもとに、アンケート調査票の分析と合わせて、現場で活用可能な対応策の好事例集を作成いたします。好事例集は、女性労働同協会のサイトでの公開を予定しております。また日本子ども家庭福祉学会（案）、日本保育学会（案）などで学会発表、ならびに論文執筆を行う予定です。

6. 本調査へのご質問・相談ならびに問い合わせ先

一般財団法人 女性労働協会 担当 小林、吉川、野崎、齊藤、角納

〒105-0014 東京都港区芝 2-27-8 VORT 芝公園 8階

TEL : 03-3456-4410

Email : w-women2a@jaaww.or.jp

(別紙②)

ヒアリング調査参加の同意書

私は、「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査に関する以上の事項について説明を受けました。研究の目的、方法等について理解し、研究に参加いたします。

参加者（署名） _____

日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

(別紙③)

ヒアリング調査参加の同意撤回書

私は、「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査への参加の同意を撤回いたします。

参加者（署名） _____

日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

令和4年9月吉日

ファミリー・サポート・センターご担当者様

一般財団法人 女性労働協会
会長 岩田 三代
(公 印 省 略)

令和4年度 厚生労働省 子ども・子育て支援推進調査研究事業
**子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における
提供会員の確保方策等に関する調査研究**
「ファミリー・サポート・センターヒアリング調査」に関するご協力のご依頼

皆様におかれましては、日頃より協会事業にご理解・ご協力を賜り誠に有難うございます。

私ども女性労働協会は、このたび、厚生労働省「令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」において、全国のファミリー・サポート・センター様を対象に、標記調査研究を行うこととなりました。ご多忙中のところ誠に恐縮に存じますが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

本調査では、特徴的、効果的な取組を行っているファミリー・サポート・センターや連携機関、会員様等に対するヒアリングを行わせていただき、地域における子育て支援事業を一層充実していく参考にさせていただきたいと考えております。

具体的な調査の目的や概要、調査内容、調査方法等につきましては、別紙に記載しておりますので、ご参照いただけますと幸いです。

何卒趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

記

(添付資料)

- ・別紙①「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査の概要
- ・別紙②同意書
- ・別紙③同意撤回書

【お問合せ先】

一般財団法人 女性労働協会 担当 小林、吉川、野崎、角納
〒105-0014 東京都港区芝 2-27-8 VORT 芝公園 8階
TEL : 03-3456-4410
Email : w-women2a@jaaww.or.jp

(別紙①)

「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査概要

1. 本調査研究事業について

私ども女性労働協会は、平成6年のファミリー・サポート・センター事業設立当初から現在に至る四半世紀以上の長きにわたり運営支援を実施し、数多くのセンター様の安心・安全な活動と円滑な業務運営のために尽力いたしております。

本調査研究事業は、全国のファミリー・サポート・センター様を対象に、アンケート調査及びヒアリング調査の実施を通じてファミリー・サポート・センター事業の実態の把握及び課題への対応策を検討し、今後の事業の一層の充実を図るため、厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業として計画・実施しているものです。

本研究へのご協力をお願いするために、研究の目的や内容をご説明いたします。下記をお読みいただき、ご理解いただいた上でご協力いただければ幸いです。

この研究は、立正大学倫理審査委員会にて審査を受け、承認を受けております。

2. 本研究の目的及び意義

ファミリー・サポート・センター事業において、「提供会員の確保」は全国的な課題であり、個々のセンターで様々な取組が行われてきているところです。しかし、思ったような成果が得られない中、提供会員の高齢化が進み、問題が深刻化しています。また、本事業は、これまで他の子育て支援事業の枠からこぼれ落ちる細かい依頼にも柔軟に対応し他事業を補完する役割も担ってきました。しかし、近年、他の子育て支援事業が充実するにつれ、ボランティアな「地域住民同士の支え合い」の活動範囲を超え、専門性が求められる依頼も少なくありません。

そこで、本研究においては、「地域住民同士の支え合い」である事業の特性を踏まえ、提供会員の確保等の対応方法等について、事業の認知度調査（別途実施）やヒアリング調査により、課題に対する根本的な原因解明と適切かつ有効な対応策について検討を行い、今後のファミリー・サポート・センター事業の充実向上に寄与する成果としたいと考えています。

3. ヒアリング調査の対象と調査方法

(3) 調査対象として選定された理由

本調査研究事業の検討委員会において、アドバイザーの検討委員よりご推薦いただき、貴センターのアドバイザー様及び積極的に事業に携わっていただいている会員の方々（提供会員、依頼会員、両方会員）に、活動の実際をお教えいただくために選定させていただきました。

(2) 調査方法

オンライン（zoom）による面接。

ZOOM アドレスは、別途メールにてお送りさせていただきます。

※ZOOM の入室にはパスコードを記載し、プライバシーに配慮した環境で実施します。

(3)ヒアリング調査の日程

●年●月●日（●曜日）●時から●時まで 所要時間：2時間以内

(4)ヒアリング担当者(予定)

検討委員会委員

東内瑠里子（日本福祉大学）、藤高直之（立正大学）、東根ちよ（大阪府立大学）

ファミリー・サポート・センターアドバイザーの委員 2～3名程度

事務局

小林恭子（一般財団法人 女性労働協会）ほか 2～3名程度

(5)ヒアリング内容

会員様自身がファミリー・サポートの活動についてどう捉えていらっしゃるのか等において、他センターへの参考事例となるような好事例として、お話を伺い、ファミリー・サポート・センター事業運営において活用可能な対応策について整理し、事業の特性を踏まえた対応策を整理したいと考えております。

【ヒアリング項目】

<1 センター基本情報>

<2 活動を通じて思うこと>

<提供会員様向け>

- ・会員基本情報
- ・提供会員になった動機
- ・活動内容
- ・活動を通じて得たこと、会員として思うこと

<依頼会員様向け>

- ・会員基本情報
- ・依頼会員になった動機
- ・依頼内容
- ・活動を通じて得たこと、会員として思うこと

<両方会員様向け>

- ・会員基本情報
- ・両方会員になった動機
- ・活動内容（提供会員として）
- ・依頼内容（依頼会員として）
- ・活動を通じて得たこと、会員として思うこと

<3 個別質問>各会員様ごとにお答えいただいた内容をもとに質問

<4 ファミサポ事業について望むこと>

<5 アドバイザーからみるセンターと会員との関係性>アドバイザー様への質問

4. 本研究事業にかかる個人情報等の取扱いおよび倫理的配慮について

本研究の実施に当たっては、厚生労働省子ども子育て支援課の許可を得て実施しております。ヒアリング調査の実施にあたりましては貴重なお時間を頂戴しますが、調査の主旨をご理解いただきますようお願いいたします。また、報告書作成のため、ヒアリング実施中に録画・録音等をさせていただきますと考えております。

本調査の参加にご同意いただける場合は、別紙②の同意書にご記入いただき、「6. 本調査へのご質問・相談ならびに問い合わせ先」に記載の調査担当までメールまたは同封の返信用封筒にてお送りくださいますようお願い申し上げます。

なお、別紙③の同意撤回書によって、いつでもこれを撤回することができます。撤回によって、あなたさまの不利益になるようなことは一切ありません。

また、ここで得た個人情報に関しては、女性労働協会において厳重に保管し、調査研究報告での公開にあたっては、公開前に許可をいただくとともに、匿名化するなどによって個人情報の保護に努めます。

本研究で得ました情報に関しては、本研究のためだけに使用します。使用後は機密文書として保管し、廃棄をします。研究計画書及び研究の方法に関する資料への情報公開をご希望の方は、女性労働協会へ連絡をいただくと閲覧することができます。

5. 本研究事業にかかる情報公開について

ここで得た情報をもとに、アンケート調査票の分析と合わせて、現場で活用可能な対応策の好事例集を作成いたします。好事例集は、女性労働同協会のサイトでの公開を予定しております。また日本子ども家庭福祉学会（案）、日本保育学会（案）などで学会発表、ならびに論文執筆を行う予定です。

6. 本調査へのご質問・相談ならびに問い合わせ先

一般財団法人 女性労働協会 担当 小林、吉川、野崎、角納

〒105-0014 東京都港区芝 2-27-8 VORT 芝公園 8階

TEL : 03-3456-4410

Email : w-women2a@jaaww.or.jp

(別紙②)

ヒアリング調査参加の同意書

私は、「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査に関する以上の事項について説明を受けました。研究の目的、方法等について理解し、研究に参加いたします。

参加者（署名） _____

日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

(別紙③)

ヒアリング調査参加の同意撤回書

私は、「子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）における提供会員の確保方策等に関する調査研究」ヒアリング調査への参加の同意を撤回いたします。

参加者（署名） _____

日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日

令和4年度厚生労働省子ども・子育て支援調査研究事業
「ファミリー・サポート・センター事業における提供会員の確保方策等に関する調査研究事業」ヒアリング調査 ヒアリングシート

(1) 提供会員の確保・困難家庭への対応

実施日： 令和 年 月 日 () 時間 : ~
調査員：

ヒアリングシート			
<1> センター概要			
センター名： アドバイザー 氏名： (事前に基本情報を記載) ・運営方法： 設立年： ・会員数 男性： 人 女性： 人 計： 人 (提供会員： 人 依頼会員： 人 両方会員： 人) ・年間活動件数： 件 ・講習会： ・会員の更新： ・利用補助： ・その他特記事項：			
番号	項目	設問	回答
<2> 提供会員の確保について			
1	確保のために実施した内容、工夫点	①提供会員不足を補うためにどのような取り組みを実施されましたか。 ・広報の工夫 ・アウトリーチの工夫 ・講習会の工夫 等 ②どのような点を工夫されましたか。 ③上記の取り組み苦勞されたことはありますか。どのように対応しましたか。	① ② ③
2	確保を実現できたポイント	結果を出すために重要となったポイントはどのような点ですか。	
3	今後の確保のための改善点と改善策	今後の目標や目指すところ、取り組みたいことはありますか。	
4	事業を行うにあたっての提供会員の位置づけ	会員が安心・安全に活動できるようアドバイザーと会員とのかかわりをどのように考えていますか。 ・理想とする姿 ・会員とのコミュニケーション ・会員同士の交流 ・信頼関係を築くための工夫等	
<3> 困難事例への対応			
1	困難事例への対応のための体制、連携先	①関係機関と連携を取っていますか。取っている場合は、どのような機関と連携をとっていますか。 ②連携のために工夫している点はありますか。	
2	困難事例への対応事例と対応にあたって重視した点	①実際に対応した困難事例で適切な対応ができたと思う活動について、可能な範囲で状況をお教えてください。 ②適切な対応を行うためにどのようなことが重要だったと考えていますか。どのような体制や対応をすればうまくできると考えますか。	
3	困難事例、配慮が必要な家庭との向き合い方	①困難事例に対して、ファミサポ事業としてどのように考え、また対応をしていけばいいと考えますか。 ②配慮が必要な家庭に対して、ファミサポ事業としてどのように考え、また対応をしていけばいいと考えますか。	
<4> 特色ある取組について(質問例)			
1	特色ある取組について	センターの特色を踏まえて深掘りしてお聞きます。	
<5> ファミサポの事業のあり方について			
1	ファミサポの事業のあり方	これからの地域の子育て支援において、ファミリー・サポート・センター事業はどのような支援が求められ、どのような支援を行っていく必要があると思いますか。事業のあり方についてのお考えをお聞かせください。	

令和4年度厚生労働省子ども・子育て支援調査研究事業
「ファミリー・サポート・センター事業における提供会員の確保方策等に関する調査研究事業」ヒアリング調査 ヒアリングシート

(2) 他機関との連携について

実施日： 令和 年 月 日 () 時間 : ~ :
調査員：

ヒアリングシート			
<1> センター及び関連機関基本情報			
センター名：			
アドバイザー 氏名：			
(事前に基本情報を記載)			
・運営方法：		設立年：	
・会員数 男性： 人 女性： 人 計： 人 (提供会員： 人 依頼会員： 人 両方会員： 人)			
・年間活動件数： 件			
・講習会：			
・会員の更新：			
・利用補助：			
・その他特記事項：			
連携機関名：			
(事前に基本情報を記載)			
・運営方法：		設立年：	
・連携年数・頻度等：			
・その他特記事項：			
当日は、以下の項目を中心にヒアリングをさせていただければ幸いです。また、連携の取り組みがわかる資料等ありましたらご準備いただければ幸いです。			
ヒアリング内容			回答
番号	項目	設問	
<2> 連携の現状・効果について ※主にセンターのアドバイザーがお答えいただき、必要に応じて連携機関の方もお答えください。			
1	連携が必要となった背景	どういったことが問題・課題となり連携することになったのか、その経緯を教えてください。 ①何が問題・課題だったのか ②連携までの経緯	① ②
2	連携の内容、役割分担	①連携の内容について具体的に教えてください。 ②ファミリー・サポート・センター、連携先機関、それぞれの役割をどういったものでしたか。	① ②
3	うまく対応できた事例、連携効果	①実際に対応した連携事例で適切な対応ができたと思う活動について、可能な範囲で状況をお教えてください。 ②適切な対応を行うためにどのようなことが重要だったと考えていますか。どのような体制や対応をすればうまくできると考えますか。	① ②
4	今後の確保のための改善点と改善策	今後の目標や目指すところ、取り組みたいことはありますか。	
<3> 連携における問題点・課題			
1	連携にあたっての問題点、課題	①ファミサポの事業と他機関との連携を行う上で、問題となったことや課題があれば教えてください。またその対応方法についても教えてください。 ②今後のスムーズな連携に向けてのご要望をお聞かせください。	① ②
<4> 特色ある取組について(質問例)			
1	特色ある取組について	センターの特色を踏まえて、特に連携機関の方についてお話を聞かせていただけます。	
<5> ファミサポの事業のあり方について			
1	ファミサポの事業のあり方	これからの地域の子育て支援において、ファミリー・サポート・センター事業はどのような支援・連携が求められ、どのような支援・連携を行っていく必要があると思いますか。事業のあり方についてのお考えをお聞かせください。	

令和4年度厚生労働省子ども・子育て支援調査研究事業
「ファミリー・サポート・センター事業における提供会員の確保方策等に関する調査研究事業」ヒアリング調査 ヒアリングシート

(3)会員向け調査 <依頼会員向け>

実施日：令和 年 月 日 () 時間 : ~
調査員：

ヒアリングシート		
<1> 基本情報		
センター名： 依頼会員ご氏名： (事前に基本情報を記載) ・会員登録年数： 年 ・依頼件数：年間 約 件 月 約 件 ・お子さんの年齢： ・兄弟の有無：		
ヒアリング内容		回答
番号	項目	設問
<2> 活動を通じて思うこと		
1	依頼会員になった動機	①依頼会員になった動機・きっかけをお教えください。 ②ファミサポを知ったきっかけについて具体的に教えてください。また会員登録までの経緯について具体的に教えてください。
2	ファミサポの活動について	①具体的な利用内容と援助に対してどのように感じているか教えてください。 ②実際に依頼をして援助を受ける中で印象的な活動について、可能な範囲でその内容についてお教えください。 ③①、②の活動を踏まえて、依頼会員として、ファミサポの活動を通して得たことがあれば、具体的にお教えください。 ④今後は、ファミサポをどのように利用したいですか。ご自由にご意見をお聞かせください。
<3> 個別質問		
1	特色ある活動内容について	(興味深い発言をしていただいた方に、さらに具体的にお話しを聞き取ります。)
<4>ファミサポについて望むこと		
1	ファミサポの事業のあり方	これからのファミリー・サポート・センター事業について依頼会員のお立場から、お考えやご要望などを自由にお聞かせください。
<5>アドバイザーへの質問		
1	アドバイザーからみるセンターと会員との関係性	自センターの会員の方々と、センターとしてどのような関係性を築いていらっしゃいますか。また、提供会員の確保のために、会員に協力いただいていることがありますか。

令和4年度厚生労働省子ども・子育て支援調査研究事業
「ファミリー・サポート・センター事業における提供会員の確保方策等に関する調査研究事業」ヒアリング調査 ヒアリングシート

(3)会員向け調査 <提供会員向け>

実施日：令和 年 月 日 () 時間 : ~
調査員：

ヒアリングシート		
<1> 基本情報		
センター名： 提供会員ご氏名： <p>(事前に基本情報を記載)</p> <p>・会員登録年数(活動年数)： 年</p> <p>・活動件数：年間 約 件 月 約 件</p>		
ヒアリング内容		回答
番号	項目	
<2> 活動を通じて思うこと		
1	提供会員になった動機	①提供会員になった動機・きっかけをお教えください。 ②ファミサポを知ったきっかけについて具体的に教えてください。また会員登録までの経緯について具体的に教えてください。 提供会員を増やすためには、何が重要だと考えますか。ご経験をおとに教えてください。
2	ファミサポの活動について	①具体的な活動内容とその活動をどのように感じているか教えてください。様々な活動をされている場合には、最も件数の多い活動について教えてください。 ②実際に援助活動をする中で印象的な活動について、可能な範囲で活動内容についてお教えください。 ③①、②やその他の活動等、提供会員として、ファミサポの活動を通して得たことがあれば、具体的にお教えください。 ④今後、提供会員として、どのように活動していきたいとお考えですか。ご自由にご意見をお聞かせください。
<3> 個別質問		
1	特色ある活動内容について	(興味深い発言をしていただいた方に、さらに具体的にお話しを聞き取ります。)
<4> ファミサポについて望むこと		
1	ファミサポの事業のあり方	これからのファミリー・サポート・センター事業について提供会員のお立場から、お考えやご要望などを自由にお聞かせください。
<5> アドバイザーへの質問		
1	アドバイザーからみるセンターと会員との関係性	自センターの会員の方々と、センターとしてどのような関係性を築いていらっしゃいますか。また、提供会員の確保のために、会員に協力いただいていることがありますか。

令和4年度厚生労働省子ども・子育て支援調査研究事業
「ファミリー・サポート・センター事業における提供会員の確保方策等に関する調査研究事業」ヒアリング調査 ヒアリングシート

(3)会員向け調査 <両方会員向け>

実施日：令和 年 月 日 () 時間 : ~
調査員：

ヒアリングシート		
<1> 基本情報		
センター名： 両方会員ご氏名： (事前に基本情報を記載) ・提供会員登録年数(活動)： 年 件 ・提供会員活動件数：年間 約 月 約 件 ・依頼会員登録年数： 年 件 ・依頼件数：年間 約 月 約 件 ・お子さんの年齢： ・兄弟の有無：		
ヒアリング内容		回答
番号	項目	設問
<2> 活動を通じて思うこと		
1	両方会員になった動機	①両方会員になった動機・きっかけをお教えてください。 ②ファミサポを知ったきっかけについて具体的に教えてください。また会員登録までの経緯について具体的に教えてください。 ・提供会員・依頼会員どちらに先に登録したのか ・その後、両方会員として登録したきっかけと経緯について ・提供会員を増やすためには、何が重要だと思いますか。
2	ファミサポの活動について <提供会員として>	①具体的な活動内容とその活動をどのように感じているか教えてください。様々な活動をされている場合には、最も件数の多い活動について教えてください。 ②実際に援助活動をする中で印象的な活動について、可能な範囲で活動内容についてお教えてください。
3	ファミサポの活動について <依頼会員として>	①具体的な依頼内容と援助に対してどのように感じているか教えてください。 ②実際に依頼をして援助を受ける中で印象的な活動について、可能な範囲でその内容についてお教えてください。
4	ファミサポの活動について <両方会員として>	①両方会員として、提供・依頼 両方の立場を経験した中で、活動を通して得たことがあれば、具体的にお教えてください。 ②今後、両方会員として、どのような活動を望まれますか。依頼会員、提供会員、それぞれの会員の立場からご自由にご意見をお聞かせください。
<3> 個別質問		
1	特色ある活動内容について	(興味深い発言をしていただいた方に、さらに具体的にお話しを聞き取ります。)
<4>ファミサポについて望むこと		
1		これからのファミリー・サポート・センター事業について両方会員のお立場から、お考えやご要望などを自由にお聞かせください。
<5>アドバイザーへの質問		
1		自センターの会員の方々と、センターとしてどのような関係性を築いていらっしゃいますか。また、提供会員の確保のために、会員に協力いただいていることがありますか。